

シャーシ作品集・価格目安書

1. 6V6GT プッシュプル(ステレオ)



現在の会社を設立後、最初に作ったシャーシです。現時点で見ると製造コストをあまり深く考えなかった為、相当割高になっています(溶接箇所が4箇所あった為。溶接箇所が増えると価格はグンと上がります)。本シャーシのみ板厚が1.6mm鋼板で、それ以降はすべて2.3mm鋼板を利用しています。尚、回路構成は6H2Π(12AX7 相当品)のSRPPに6H3Π(6385 相当品)のムラード式位相反転回路を経て6Π6C(6V6GT 相当品)のビーム管接続(自己バイアス)で、無帰還です。DFの懸念がありましたが、音質的には問題はありませんでした(W380xD240xH50)。

シャーシ販売価格：30,000 円(設計費・税込み)

2. 801A シングル(ステレオ)



個人事業主となってフラッグシップモデルの必要性を感じ、製作したシャーシです。本体は鋼板製のロの字型に作られたフレームに3mm ステンレス製の天板/底板を挿み、更に弊社自慢の「リーケージブロッカー」を鋼板とステンレス製片研材で製作、搭載しています。このシャーシはコスト度外視で作りましたが、出力トランスが安物なので、あまり低音が出ませんでした。

現在での回路構成は写真とは異なり、6SJ7GTW の5 極間接続に 6K6GT の三結を直結し、カップリングコンデンサを介して 801A に接続されています。現在メインで使用しているアンプです (W450xD350xH170)。

シャーシ販売価格：65,000 円(設計費・税込み)

3. 6L6G プッシュプル(ステレオ)



初めてお客様にお納めしたシャーシです。回路がチョークインプット構成の為、チョークトランスが唸らないか思案したお客様が弊社HPのリーケージブロッカーが目にとまり、結果的に販売に結び付きました。

特徴はなんといってもカスケード式J-FETの放熱に利用した「チムニー式放熱翼」です。SUS304 HL-1/2 焼きなまし鋼で出来た放熱翼(0.5mm厚)4枚を、SUS304-2B(2mm)に伝熱グリースを塗布して組み立て。SUS316LのEP管(サニタリー管ベース)内にセットしてあります。この放熱器2基だけで、約15,000円します。ただお客様曰く、このチムニー式放熱器をどうしても作りたかったそうで、実際稼働させた状態ではほんのり熱が伝わってくる程度だそうで、かなりの放熱効果がある模様です。

6L6GTは大型サブシャーシに取り付けられておりバイアス調整用VRが取り付けられています。懸念されていたチョークトランスの唸りやハム音は皆無だそうで、「貴社に任せて良かった」とお褒めのお言葉を頂きました(W470xD270xH55)。

シャーシ販売価格：67,000円(設計費・税込み)

4. 6L6GC プッシュプル(モノラル)



鹿児島在住のお客様より「部品調達ができないので外装パーツ込みでシャーシを作ってほしい」とのご依頼があり、作製致しました。

特徴はピアノブラックの本体と SUS304HL の組み合わせ、それに一切の溶接をしていないのに、溶接仕上がりに見えるコーキング技法です。これにより見た目より相当なコストダウンができました。

こちらも出力管(6L6GC)はサブシャーシに取り付けられており、サブシャーシにはバイアス調整用 VR が付けられるようになっています。

現物をご覧になられたお客様からは「想像以上の出来栄で満足しています。制作意欲がふつふつと湧き上がってきました」とのコメントを頂きました(W200xD430xH60)。

シャーシ販売価格：48,000 円(2 台分。設計費・税込み)

尚、現在は新たにサブシャーシを製作、前回同様パーツ込みの受注を頂き、50CA10 のプッシュプルでお楽しみになっておられます。

5. 金田式 DC アンプ (6C33C-B OTL アンプ)



お客様より「金田式アンプのシャーシは作れないか」とのご相談を頂き、MJ 誌掲載の図面をお送り頂いて作ったシャーシです。

金田先生のアンプは全て手加工で少ない工具で作れるように設計されており、道具と手間を厭わなければ手慣れた方なら製作可能ですが、そうでない方には敷居が高く、又弊社所有のレーザー加工機でそのまま加工するととんでもなく高価なものになってしまいます。

そこで全体像を見直し、レーザー加工機で安価に作れるようモディファイしたのが本機となります。フロントパネルはSUS304のヘアライン仕上げ(以下HLと称します。板厚1.5mm)、ボディーは2.3mm厚の鋼板で製作しており、全体的な放熱加工が出来る様アンプ部の裏板にはパンチングメタルを採用して取り付けてあります(電源部 W440xD265xH130 : アンプ部 W440xD195xH60)。

シャーシ販売価格 : ペアで 50,000 円 (設計費・税込み)

6. EL34 3 結 PP ステレオアンプ

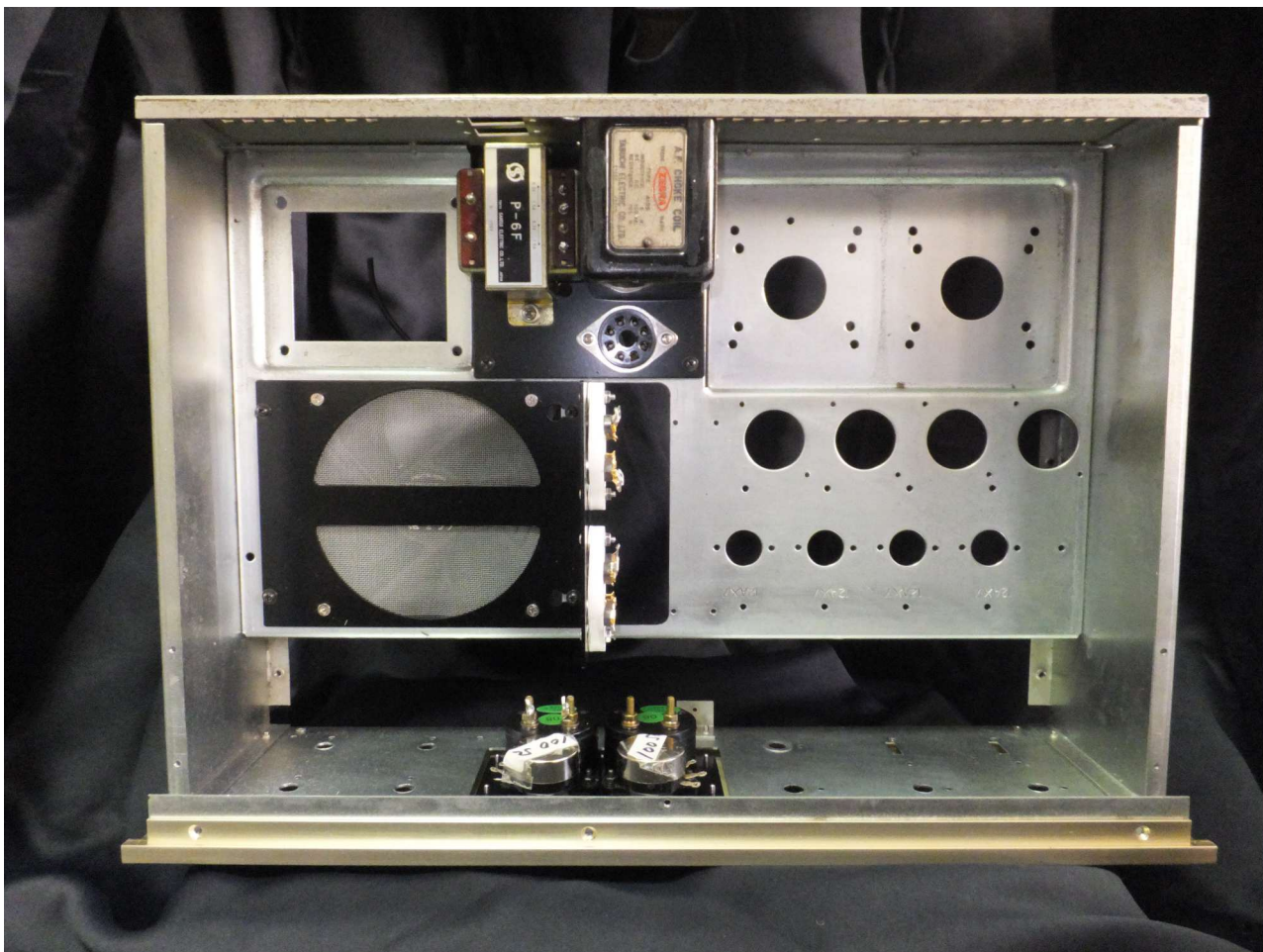


以前、出来合いのシャーシを使って組み立てたアンプを、弊社の新型エコノミークラスの試作機として製作したアンプです。天板・前面板・后面板を一体化、また側板と底板を一体化の2ピース構造に仕上げました。2.3mm厚で相当頑丈に出来ており、重たいTANGO FX-50を2個、ST-350を1個取付けてありますが、たわみや歪みは全くありません。

現時点では最もお安い構造で、板厚を2.3mmから1.6mmへ、またサイズを小さくすれば更にお安くなります(板厚は強度計算の上、弊社で設定します。W390xD280xH55)。

シャーシ販売価格：30,000円(設計費・税込み)

7. SQ38F 改 WE300B シングルステレオアンプ



本来は 50C-A10 の PP で動作するアンプですが、スペア管が入手できない事や、WE300B を搭載した同機種がネットオークションで販売されているのをご覧になったお客様より、加工が出来ないかという打診を頂き、改造を行った製品です。

フロント部はトーンコントロール部はご利用にならないという事で、その部分にバイアス電流を監視する電流計とバイアスバランス用 VR を取付けています。

内部は 12cm のファンを取り付けたブラケットに UX ソケットをセットし、ヒーター線の取付方向がどの方向になっても良い様にソケット穴はほぼ 360° 好みの方向に調整できるようになっています。

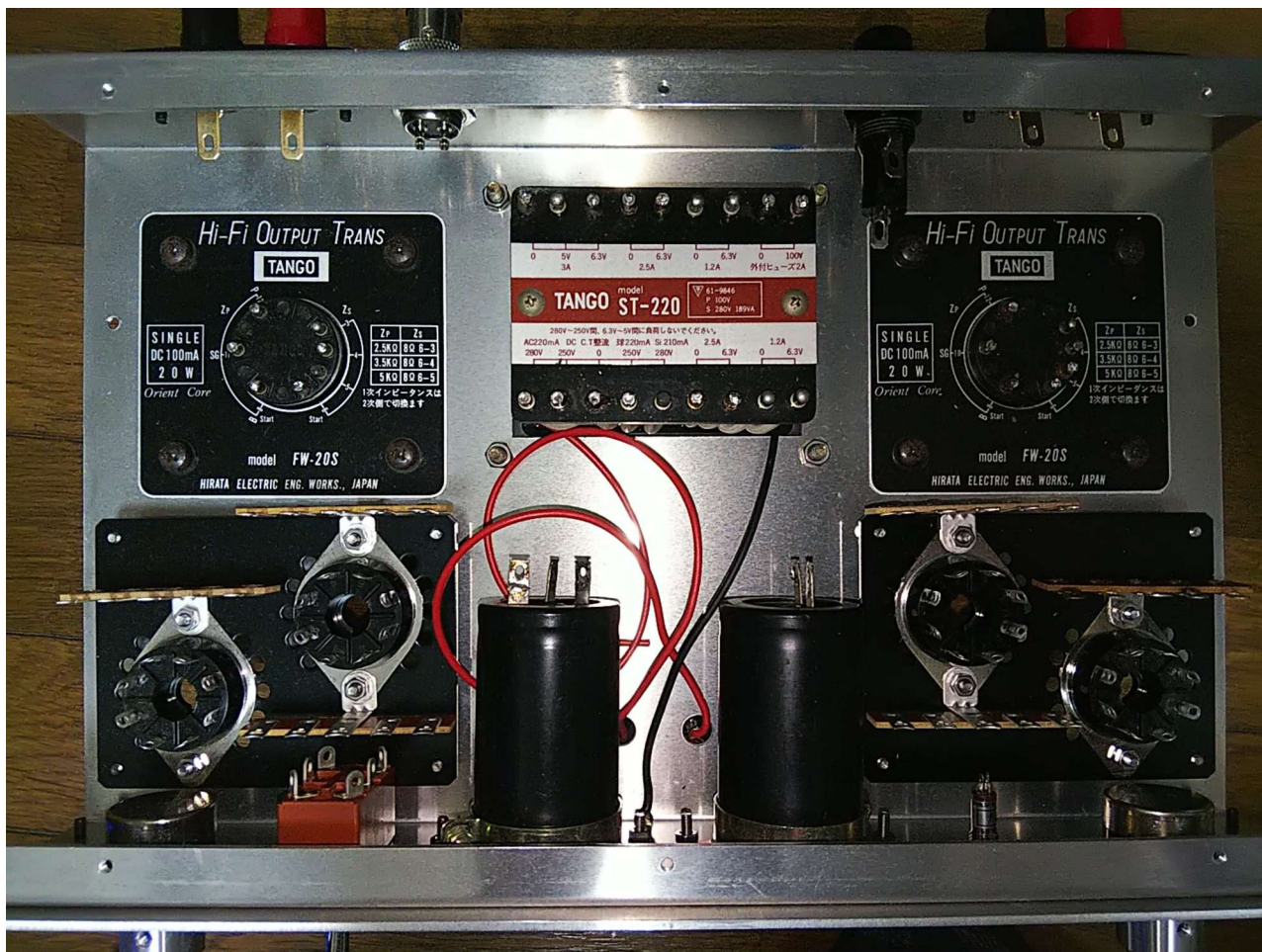
サブシャーシにはヒーター用トランス・チョークトランスと整流管が取り付けられるようになっています。

納入させて頂いたお客様からは「想像以上の出来で満足している。貴社にお任せしてよかった」との仰せでした。

シャーシ改造価格：110,000 円(設計費・税込み)

8. 6BG8 シングルステレオアンプ



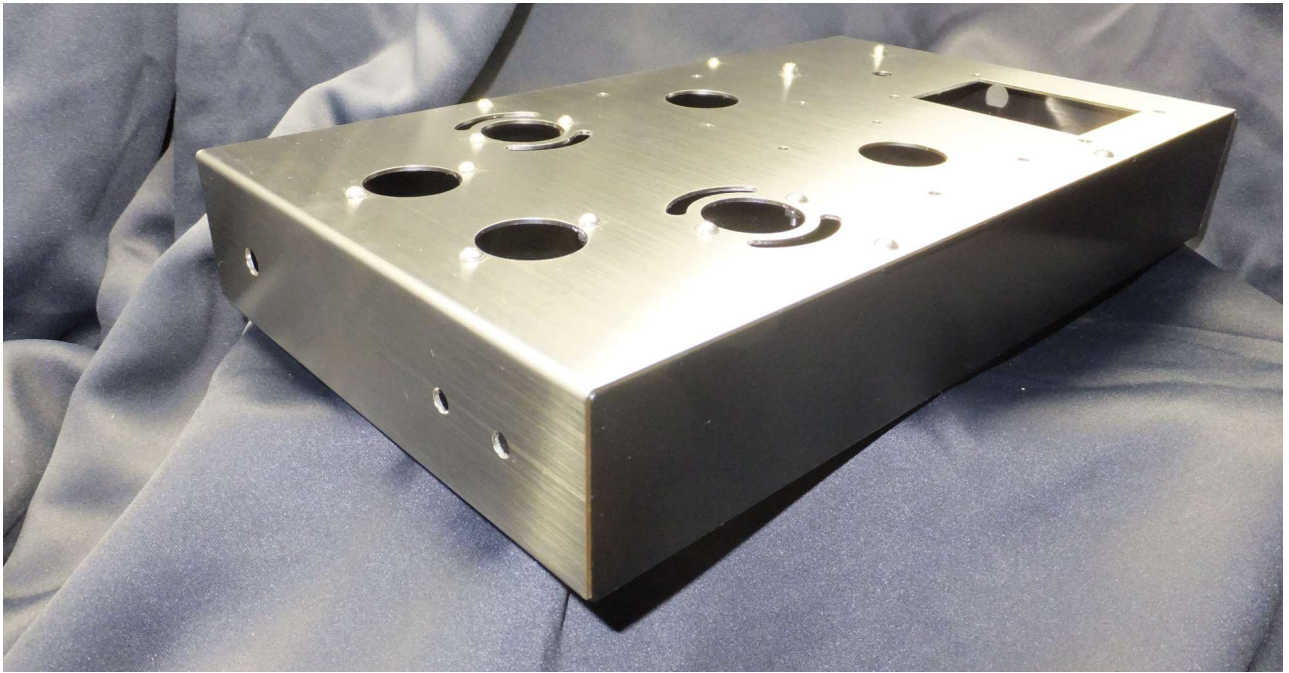


弊社初のアルミ製シャーシです。基本的には6番目にご紹介したEL34 PPと同様の2ピース構成ですが、アルミ材は通常のA1050Pではなくより強硬度なA5052Pを採用。裏板～側板にはSPCC1.2mm鋼板の黒色塗装を採用、フロントはSUS304 HL1.5mmを取付て高級感を出してみました。ブロックコンデンサーをシャーシ内に入れた事で外観的にもサイズのにもスマート&コンパクトに仕上がりました。SUSと同様にどこでもアースポイントが取れるのは強みと言えるでしょう。但し仕上がりはやはりSUSより劣り強度もSUSの方が強いので、後からご自身で加工する場合を除いては余り推奨しません。W310xD190xH50 ¥

シャーシ販売価格：28,000円(設計費,消費税込)

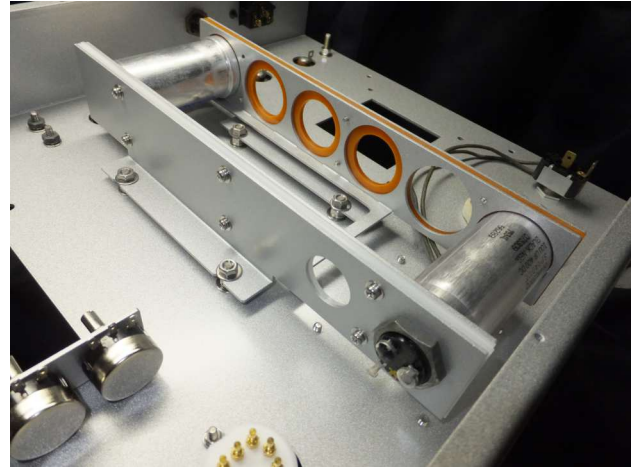
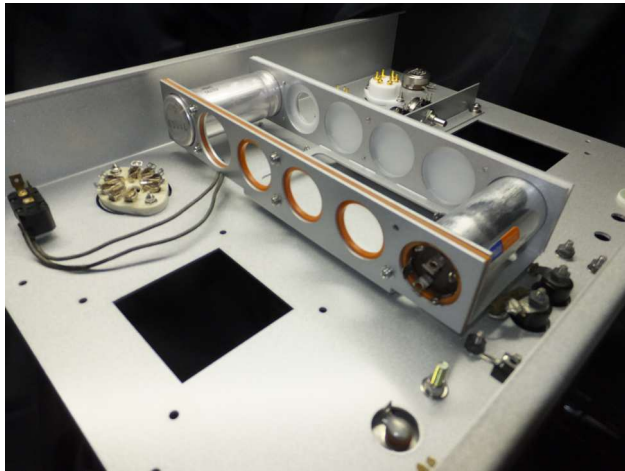
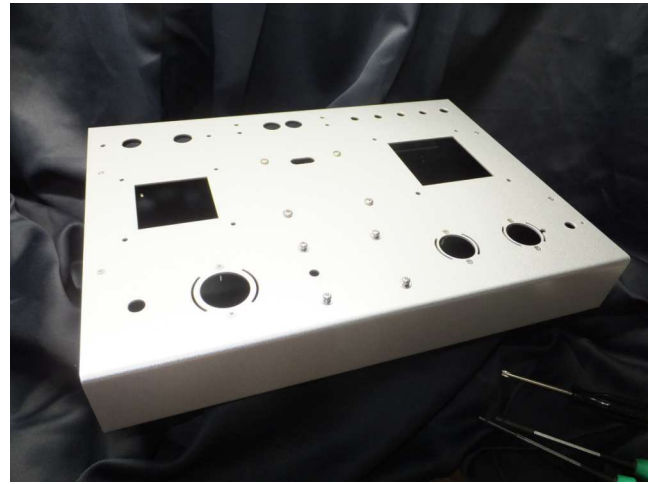
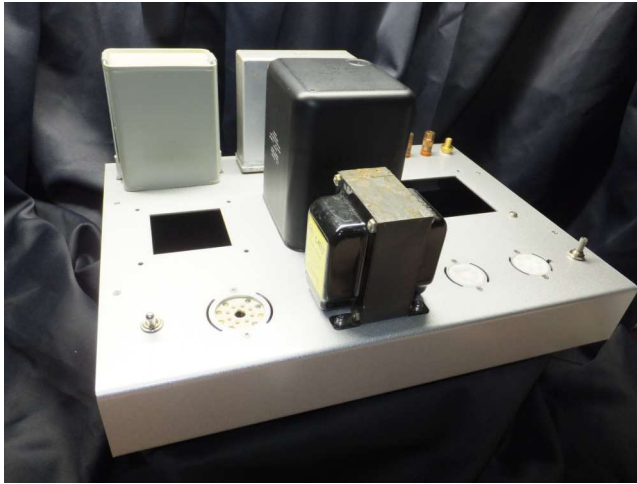
9. 6V6GT シングルステレオアンプ

いまでは定番となった2ピース構造で縦長のシャーシを作ってみました。こちらのお客様も雑誌に載っていた図面をお送り頂き、それに弊社らしさをだして製作してみました。前面～天板～後板はSUS304 HL、両側板～底板はSPCC 1.2mmを黒色塗装としました。多分このスタイルが弊社のスタンダードになって行くものと思います。尚、そのまま使用に耐えうる図面であれば改めて設計をする手間が省けるので、そのような場合は設計費ではなくCAD化(dxf 書式への)作業費とし、費用も5,000円から4,000円(共に税込み)となります。W200xD350xH55 シャーシ販売価格：24,000円(作業費, 消費税込み)



10. WE300B/PX25 シングルモノラルアンプむき出しのスプラーク社製ブロックコンデンサーをどうシャーシ内に収めるか？本機 WE300B/PX25 シングルアンプはこの難題に、シャーシ内部に固定台を設置しました。この固定台は保持部を絶縁エンブラのPOMを、はんだ付け部分にはベークライトを用いてブロックコンデンサーの外皮からシャーシへの短絡を防止しています。

また本機は始めて鋼板にシルバー塗装というデザインを採用しました。ステンレスだと色がバラバラな各種トランス類が浮いて見えてしまい、鋼板の黒色塗装だと黒いパーツが目立たなくなってしまう為です。デザインの的にも良い出来栄だと自負しています。



只、前出のコンデンサー固定台に使用した絶縁部品が思いのほか高値だった為、お客様にはかなりご負担を掛けてしまいました。今後の課題にしたいと思います。

W430xD315xH67 シャーシ販売価格：150,000 円/2 台(設計費 税込み 子部品付き)

11. 829B PP ステレオアンプ



この完成写真をご覧になって「どこかで見たことがある気がする」と思われる方も多いのではないのでしょうか。本機は往年の LUXMAN が発売していたキット「KMQ7」をほぼそのままモデファイしたものになります。実はお客様より KMQ7 に双ビーム管の 829B を搭載できるように改造を依頼されました。しかしシャーシ現物を見てみると相当劣化が激しく、例え改造してもお客様にご満足頂ける製品をお届け出来ない事が分かったので、完全に 829B 用に作り直すこととなりました。納入したお客さからは「シャーシの実物を拝見し、本当に感嘆しました。私が思っていた以上の仕上がりで、流石はプロの方のお仕事は段違いである、とつくづく感じ入った」との嬉しいお言葉を頂戴しました。

現行製品をそっくりそのまま作るのは意匠権の都合で出来ませんが、生産が終了品で明らかに穴位置などが違う場合は(多分)大丈夫なのでお気軽にお尋ねください。

W385xD206xH50 シャーシ販売価格：32,200 円(設計費 税込み 上部カバーは既存 KMQ7 の物を流用)

12. 伊藤喜多男先生設計 EL34 PP モノラルアンプ



往年の有名な回路設計者でいまだファンが多い伊藤喜多男先生設計の EL34 PP モノラルアンプを現在入手できるパーツを用いて再現させて頂きました。先生のオリジナル設計はフレームが 1.2mm 鋼板でしたが、1.6mm に改め強度を高めています。出来上がりを見ると確かにマニア心をくすぐるデザインですね。ご注文頂いたお客様より「シャーシを手に取り、その素晴らしい出来upりに本当に驚きますと共に、大いに満足しました。」とお褒めのお言葉を頂戴いたしました。W280xD165xH53 シャーシ販売価格：68,700 円/2 台(設計費税込み)

13. 伊藤喜多男先生設計 EL34 ステレオ PP アンプ

お次も伊藤喜多男先生設計のアンプです。ただこちらは伊藤先生のデザインを拝借して、お客様の好みにいくつかの変更点がありますので、伊藤先生のオリジナルとはいささか趣が異なります。天板の配置はほぼオリジナル通りですが、正面に V R を持ってきた事や、入力(XLR 端子から RCA ピンジャックへ変更)を初段近くに配置した事、ハーモニカ端子を中央に寄せたことなどが上げられます。



また今回はVRノブも製作させて頂きました。尚、写真は出荷前に急遽撮影したもので、御見苦しい点は何卒ご容赦ください。お客様からは「大変に見事な仕上がり状態に魅了されます」とのお褒めのお言葉を頂きました。W387xD219xH54 38,200円(設計費・消費税込み・VRノブを除く価格)

14. VT137 シングルステレオアンプ



長年にわたって構想を練られて居ながら、シャーシを作ってもらえる会社が見つからなかったお客様がたまたま弊社を見つけられて製作までこぎつけた、という正に「長年の夢の実現」を果たされたシャーシです。

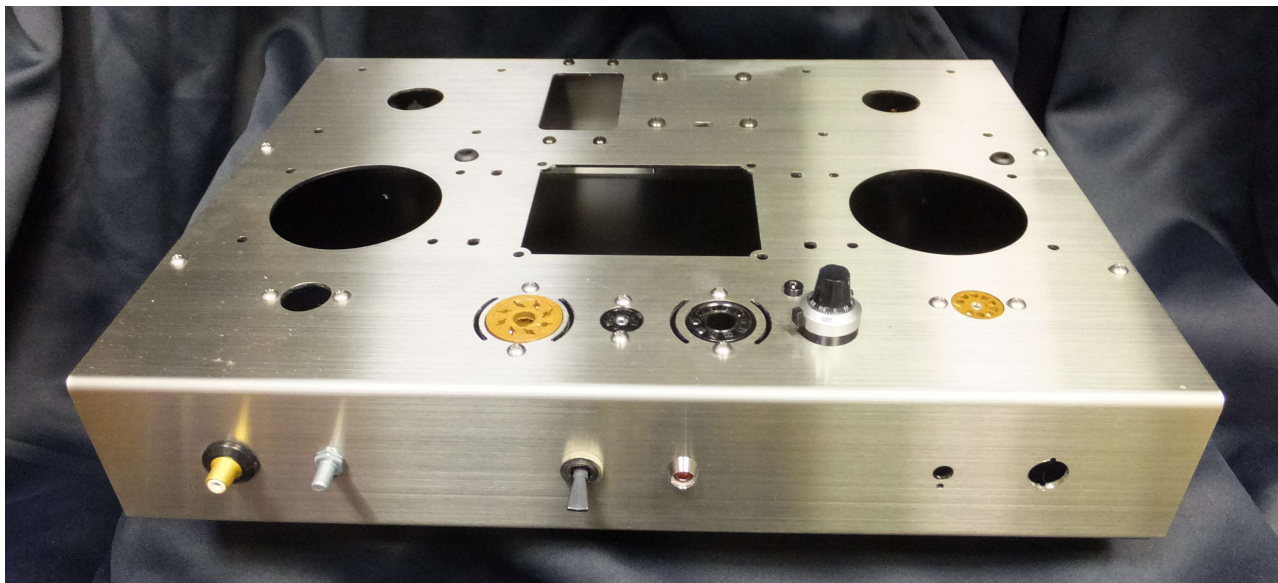
ひときわ目を見張るのは鮮やかなオレンジ色でしょう。バーミリオンオレンジという色で、弊社では当然扱いが無いのでお客様用に一缶調合させて頂きました。

また本体もミガキのSUS304、ボンネットとトランスカバー付という豪華さで、夢の実現にはコスト度外視という意味が見えるようです。W280xD273xH176 104,400円(設計費・消費税込み)

15. 4D32 シングルステレオアンプ

大型ビーム管のシングルステレオアンプです。電源の安定化のために色々と複雑な回路構成になっているようですが、回路図を頂いていないので良く分かりませんが、かなり高電圧で使用するものと推察しました。裏板には強制空冷用ファンが組み込めるようになって

います。構造としては天板が SUS304 のヘアライン 2mm、裏板が SPHC1.6mm 軟鋼というスタンダードな構成です。W386xH72xD295 30,000 円(設計費・消費税込み)



16. PT15 シングルステレオアンプ

RK20A の下位互換機ともいえる PT15 のシングルアンプです。ドライバトランスで PT15 をドライブするという事で重量がありすぎて取り扱いに苦慮する為、電源部と増幅段を左右別にして欲しいというお客様のご要望を受けてこのような形になりました。ドライバトランスはゼネラルトランス販売さんの PMF-55D を利用して 1:1 で使用しています。各シャーシもなるべく軽くするという事で、A5052P(アルミ)2mm 厚を天板にチョイス。底板は天板の弱さを補う為、あえて薄くせずスタンダードな SPHC1.6mm 鋼板で重量級トランス類を支



えています。お客様からは「開梱しましたら、本当に立派な出来映えのシャーシが入って
おりました。ただただ、流石としか申し上げられません。」とのお褒めのお言葉を頂きま
した。W430xH62xD300 68,000 円(セット価格・設計費・消費税込み)

17. 6Π6C シングルステレオアンプ



VT137 アンプが余りにカッコよかったので、これを安価に作れないかと考えて弊社では初
の組み立て済みのリース専用機種として設計しました。リースで使用する訳ですから真空
管を保護する為にボンネットは必須で、更にチョークコイルの引き出し口が上側にある為
必然的にトランスカバーも必要となりました。また本機は気軽に音楽を楽しんで頂けるよ
うにと Bluetooth レシーバーからの入力を前提として設計していますので、かなりハイゲ
インな回路構成にしてあります。構成は 6H2Π が初段、直結されたドライバ段が
6H1Π、出力管は 6Π6C (6V6GT の互換機。写真では JJElectronic の 6V6S になっていま
す)の UL 接続という構成です。本機には 10cm フルレンジのダブルバスレフスピーカーが
セットになってリースする予定です。W198xH152xD223 72,500 円(設計費・消費税込み。シャーシ
のみの価格です)

18. VT-62 (801A) シングルステレオアンプ Version2

創業時にフラッグシップモデルを作ってからかれこれ 4 年近くが経ちました。その間様々
なシャーシをお客様と一緒に作っていく間に様々なノウハウが蓄積され、今日的に
見ると色々と直したい部分が出てきました。そこで思い切って改良型を設計してみる事に
してみました。回路構成は前回の三段ではなく、5 極管の 6SJ7WGT を二段構成で使用。整

流回路もダイオードから 5R4GYB(本当は 5R4GY にしたかったが価格が...)に変更。以前とは趣の異なった仕上がりになりました。W398xH189xD278 62,300 円(設計費・税込み)



【最後に】

弊社はお客様お一人お一人から予算や回路構成等を伺い、シャーシを完全オーダーメイドで製作する会社です。ご納得頂けるまで何回設計し直しても設計費は税込み 5,000 円です。実際にご購入されたお客様からは「部品がピッタリはまるのが快感」「まるでメーカー製の様な仕上がり」等、ご好評頂いております。是非ご用命くださいませ。

真空管アンプシャーシ製作所 代表：伊野 竜次

【営業案内】

営業時間 平日 PM6:00～PM9:00 休日/祝日 AM9:00～PM9:00

連絡方法 e-mail/info@tube-amp-chassis.com

TEL/090-6167-1075(お電話は営業時間内をお願いします)

FAX 046-245-2159

価 格 設計費 一律 5,000 円(税込み)

本体価格 お見積りによる。

納 期 設計日数 5 営業日/加工～塗装 10 営業日(目安です)